

U.S.Indicators

米国 1月分の大幅下方修正で勢い弱まる(16年2月小売売上高)

発表日：2016年3月15日(火)

～基調はやや下振れ～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
15/06	▲0.0	(+1.8)	+0.4	▲1.1	▲1.6	▲1.0	+0.9	+0.5	▲0.9	+1.2
15/07	+0.8	(+2.6)	+0.6	+1.7	+1.5	+0.9	▲1.3	+0.3	+0.3	▲1.0
15/08	+0.0	(+2.0)	▲0.1	▲0.0	+0.3	▲0.1	+0.5	▲0.1	▲0.1	▲2.2
15/09	▲0.1	(+2.2)	▲0.5	+1.0	+1.4	+1.2	+0.8	▲0.7	▲0.6	▲4.8
15/10	+0.0	(+1.6)	+0.1	▲0.0	▲0.3	+0.9	▲1.3	▲0.1	▲0.9	▲1.1
15/11	+0.3	(+1.5)	+0.3	+0.4	+0.6	▲0.8	▲0.7	+0.2	+1.0	▲2.0
15/12	+0.3	(+2.6)	+0.4	+1.0	+0.0	+0.2	▲1.1	▲0.3	+0.0	▲1.2
16/01	▲0.4	(+3.0)	▲0.4	▲0.3	▲0.2	▲0.6	▲0.2	▲0.3	+0.1	▲3.3
16/02	▲0.1	(+3.1)	▲0.1	+0.2	▲0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.5	+0.9	▲4.4

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

2月コア小売売上高 は同+0.1%と増加に 転じた

16年2月の小売・飲食サービス売上高は、前月比▲0.1%（前月同▲0.4%）と市場予想中央値の同▲0.2%を上回ったものの、12、1月合計で▲0.5%下方修正されており、実態は市場予想よりかなり弱い。内訳をみると、衣料品が加速したうえ、建設資材、薬局、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じた。また、家電、家具、百貨店など一般小売が減少幅を縮小した。一方で、食品・飲料、その他小売、通信販売が減少に転じたほか、ガソリン価格の下落によりガソリンスタンドが減少幅を拡大した。さらに、自動車・同部品が2カ月連続の減少となった。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、前月比▲0.1%（前月同▲0.4%）と市場予想の同▲0.2%を上回ったが、12、1月合計で▲0.2%下方修正されており、市場予想より若干弱い内容だった。衣料品が加速したうえ、建設資材、薬局、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じた。家電、家具、百貨店など一般小売が減少幅を縮小した。一方で、食品・飲料、その他小売、通信販売が減少に転じたほか、ガソリンスタンドが減少幅を拡大した。

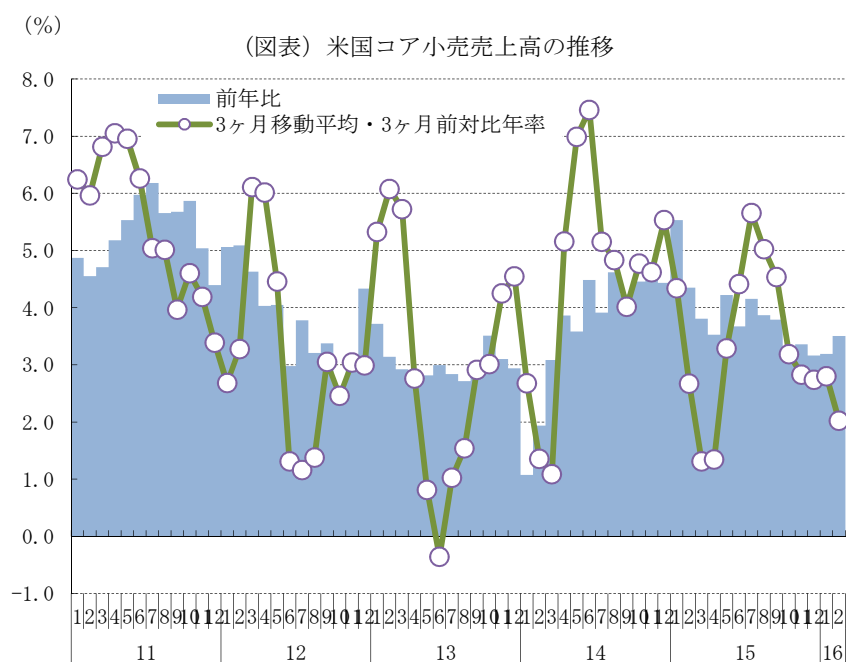
小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+0.1%（前月同▲0.1%）と増加に転じた。衣料品が加速したほか、薬局、スポーツ用品・本・趣味用品、飲食店が増加に転じ、家電、家具、百貨店など一般小売が減少幅を縮小した。しかし、12、1月合計で▲0.4%下方修正されたため、1、2月のコア小売売上高は、10-12月期比年率+1.0%と10-12月期の前期比年率+2.7%から大幅に鈍化した。コア小売の1月分の大幅な下方改定は、小売売上高の拡大基調がこれまで考えていたよりも弱いことを示しており、金融市場で消費に対する懸念が再燃したようだ。ただし、雇用・所得の拡大、緩やかな金融環境、マインドの安定、ガソリン価格の下落等を背景にコア小売売上は緩やかな拡大基調を保っている。当面、消費を取り巻く環境が急激に悪化する可能性は低いことから、現在の小売売上高の拡大基調は維持されよう。

2月の小売・飲食サービス売上高では飲食店が最大の押し上げ

2月小売売上高の前月比（▲0.15％）の寄与度をみると、プラス寄与の業態では、飲食店が+0.12％と最大の押し上げ寄与となった。他では寄与度の大きい順に、建設資材が+0.11％、薬局が+0.04％、衣料品が+0.04％、スポーツ用品・本・趣味用品が+0.02％と続いた。また、家電は0.00％。一方、マイナス寄与の業態では、ガソリンスタンドが▲0.31％と最大の押し下げ寄与となり、次いで自動車・同部品が▲0.04％、百貨店を含む一般小売が▲0.03％、食品・飲料が▲0.02％、その他小売りが▲0.02％、通信販売が▲0.02％、家具が▲0.01％となった。

コア小売売上高は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率+2.0％と減速

小売売上高のモメンタム（3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率）をみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、価格下落に伴うガソリン売上の減少等により+0.9％（前月+1.1％）とプラス幅を縮小した。また、小売売上高の基調を示すコア小売売上高（自動車・ガソリン・建設資材を除く小売・飲食サービス売上高）は、+2.0％（前月+2.8％）と減速し、コア小売売上高のモメンタムが弱まっている。



(出所) 米商務省